

ファシリテーター



松井 周
まつい しゅう

1972年東京都出身。劇団青年団に俳優として入団後、作家・演出家としても活動。2007年劇団サンプルを旗揚げ。2011年『自慢の息子』で第55回岸田國士戯曲賞を受賞。近作にKAATキッズプログラム『さいごの1つ前』(2022年脚本・演出)、彩の国さいたま芸術劇場ジャンル・クロスII近藤良平×松井周『導かれるように間違う』(2022年脚本)、『変半身(かわりみ)』(2019年共同原案：村田沙耶香)など。



綿貫 美紀
わたぬき みき

東京都出身。早稲田大学卒業後、コンサルティング企業やAIスタートアップ勤務を経て、現在。様々な企業の事業開発プロジェクト等を支援する傍ら、2019年より「松井周の標本室」のコミュニティマネージャーを立ち上げからつとめる。「なりかわり標本会議」では、非パフォーマーの目線から、皆さんと一緒に誰でも参加できる場作りについて考えていきたいです！

なりかわり標本会議とは

誰でも俳優になれる！未来を生きる！

カードに書かれた役割になって会議をすることで誰でも演劇ができるカードゲーム

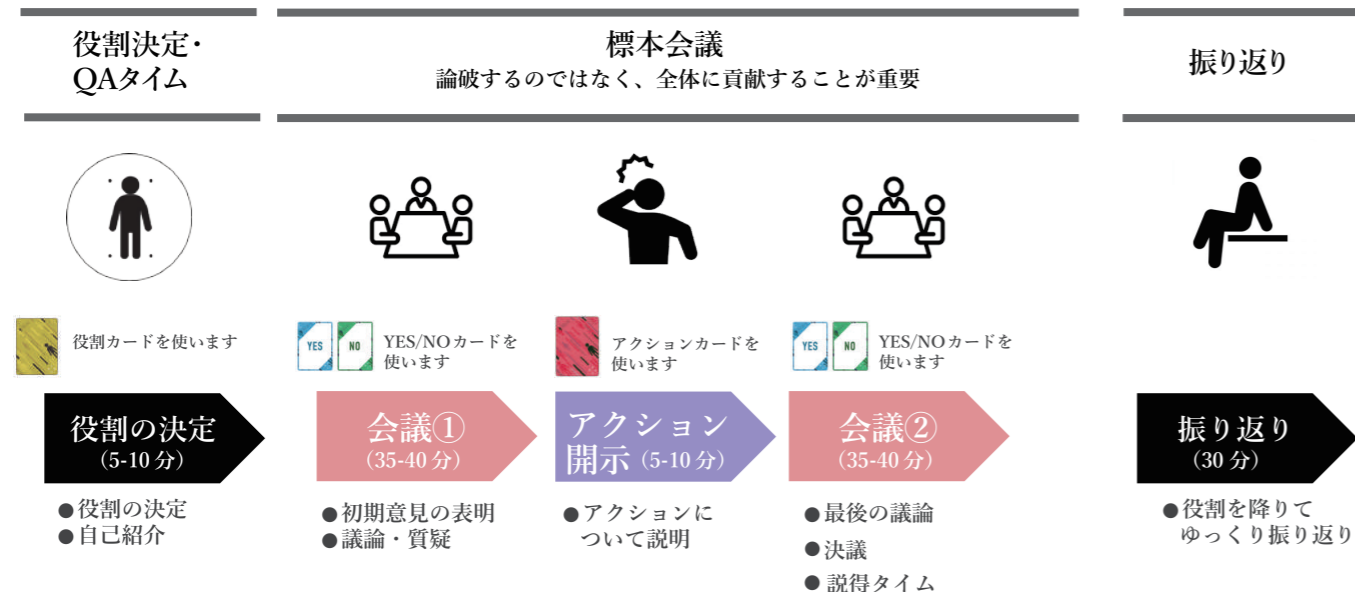
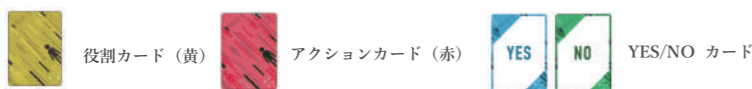
なりかわり標本会議では、様々なテーマに対して、カードに書かれた役割になって会議をします。「他者の気持ちになって考えてみる」。学校や社会でよく耳にする言葉ですが、実際は他者のすべてを理解することはできません。どれだけ他者に「なりかわろう」としても、自分の気持ちや考えが漏れてしまう…そんな感覚をカードゲームを通して体験することで、自分の無意識の偏見や固定観念に気づき、現実の生きづらさを解消するヒントになるはず。演劇というフィクションだからこそ、肩の力を抜いて楽しみながら、他人と自分、世界と自分を考えるきっかけをつくります。

《ゲームの設定》* 標本=全国から無作為に抽出されたサンプル(標本)として会議に参加していただくという設定です。20XX年。助けて下さい！この国は未来への舵取りができなくなっています！そんな中、急速「* 標本員制度」が施行されました。様々な職業や立場によって無作為に選ばれた国民は、提出された問題について、二回の会議への参加を求められます。あなたの意見でこの国の未来が変わります。ざっくばらんに意見を交換するところから始めましょう！

- 《テーマ例》
- ・肉を食べるのやめませんか？ ・夫婦別姓、どう思いますか？
 - ・安楽死、どうしますか？ ・徴兵制ってありですか？なしですか？

体験者の声

- 本来の自分ではない役割を纏って語る、という行為に静かな高揚がありました(30代)
- 実際に自分が参加する事のある会議よりも、内容の濃い会議が繰り返されたように思いました(40代)



松井周の標本室×三重県文化会館

なりかわり 標本会議 メンバー募集!!

即興でもない、ディベートでもない。だれかになりかわって、生の対話をしているうちに自然と演技ができちゃう?! 演劇なんて恥ずかしい、自分にはできないと思っている人もいつの間にか巻き込まれてしまう、そんな未来のコミュニケーションツールが、「なりかわり標本会議」です。「なりかわり標本会議」ではこのゲームを広めてくれるメンバーを大募集します。

松井周の「標本室」HYOHONSHITSU 2020年から活動している、松井周さんと知的好奇心でつながった10代~70代のメンバーによるコミュニティ。カードゲーム「なりかわり標本会議」(原題:標本会議)も同コミュニティから生まれた。

活動内容

- ・カードゲーム「なりかわり標本会議」の手法を学び、ファシリテーターとして広める。
- ・舞台版「なりかわり標本会議」に出演する。



なりかわり標本会議の様子

《参加の流れ》

- まずは体験ワークショップに参加
- ↓
- 選考を経て、「なりかわり標本会議」メンバーに!
- ↓
- 2023年度
ファシリテーターが企業や学校で行うカードゲーム「なりかわり標本会議」の現場に同行。年10回程度のレクチャー・稽古を経て、舞台版「なりかわり標本会議」試演会に出演。
 - 2024年度
ご自身がカードゲーム「なりかわり標本会議」を進行するファシリテーターとしてデビュー!!
舞台版「なりかわり標本会議」本公演に出演。